

議事録

件名	第20回久留米市セーフコミュニティ推進協議会
日程	令和3年9月6日(月)～9月27日(月)【書面決議】
参加者	別紙参加者名簿のとおり
次第	<p>1. 協議事項</p> <p>(1) 2020年度(令和2年度)実績について</p> <p>①各対策委員会の取り組み実績</p> <p>②その他の取り組み実績</p> <p>(2) 2021年度(令和3年度)取り組み方針(案)について</p> <p>①具体的施策の見直し</p> <p>②各対策委員会の取り組み方針</p> <p>③その他の取り組み等</p>
協議結果	<p>協議事項(1)賛成多数により承認</p> <p>協議事項(2)賛成多数により承認</p>
質疑・意見	<p>《協議事項(1)》</p> <p>[児童虐待防止・交通安全]</p> <p>委員 事務局 ・子どもの虐待防止・高齢者の交通安全など、難しいが重要な課題だと感じる。セーフコミュニティで取り組んでいる児童虐待防止対策や交通安全対策などは、地域や行政など社会全体で取り組んでいく課題です。今後も、地域の皆様や関係機関ととともに取組を行いますので、引き続きご協力をよろしくお願いします。</p> <p>[高齢者の安全]</p> <p>委員 事務局 ・「高齢者の転倒予防パンフレット」はわかりやすく改訂され、地域の方々からも配布の依頼もあった。</p> <p>「高齢者の転倒予防パンフレット」は令和元年度に改訂し、老人クラブ福祉大会や、保健所、民生委員、地域包括支援センターなどを通じて配付を行っております。令和2年度は1,735枚配布しており、今後も転倒防止に向けた意識啓発に努めて参ります。</p> <p>[自殺対策]</p> <p>委員 事務局 ・16ページにある『SOSの出し方教育』の内容は。</p> <p>SOSの出し方教育は、生徒が自己肯定感を高め、将来起きるかもしれない危機的状況に備えて、SOSを出せるよう支援するとともに、周囲の大人に対してもSOSを受け止めることができるよう啓発を行う事業です。各中学校で、生徒向け授業と、同校の全教職員に対しての教職員向け研修を実施しています。授業・研修はNPO法人へ委託し、調整を教育委員会と保健所とで連携して実施しています。生徒向け授業では、「自殺」といった用語は使用せず、思春期の特徴、困った時の対処方法、相談の大切さ、相談の聴き方・嫌なことの断り方のロールプレイなどの内容となっています。教職員向け研修は、生徒向け授業の前に実施し、生徒向け授業の内容について、及び自殺と自傷の違い・言葉のかけ方などについて触れます。</p>

(協議1 続き)	<p>[防災]</p>
委員	<p>・色々なスキルを持っている防災士、防災リーダーの地域での活躍の場が少ないように思う。彼らのスキルを活かし地域の防災力の向上を図っては。</p>
事務局	<p>久留米市では地域の防災活動を牽引する人材を確保するため、まちづくり連絡協議会と連携し、防災士や防災リーダーの養成事業を進めているところですが、養成した人材が地域で活躍する場が少ないのは課題だと認識しております。今後は、地域が主催する防災の研修や訓練の企画や立案、運営について、この防災士や防災リーダーが牽引できるような環境づくり、地域コミュニティづくりについてサポートしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>[全体意見等]</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響で、各委員会での活動に制約があったと思うが、各委員会の指標をみると、全体的には向上したとみられる。</p>
委員	<p>・ウィズコロナの状況下での実績と反省を今後の活動に活かしてほしい。</p>
事務局	<p>対面での取組が思うようにできず、活動が困難であったことは確かです。一方で、現状では対象者がやや限定的であるものの、オンラインやSNSの活用など、取組の幅が広がったことも確かであり、今後に活かしていきたいと考えています。</p>
	<p>《協議事項(2)》</p>
	<p>[児童虐待防止]</p>
委員	<p>・児童虐待防止について充実してほしい。</p>
事務局	<p>今後も事業の取組を継続的に進めます。また、今年度から、子ども自らの相談する力とSOSを発信する力の育成を図ること目的に「子どもの権利等啓発事業」を実施し、児童と教職員に対しての取組を行っています。</p>
委員	<p>・久留米だけでなく全国的に子どもへの虐待があまりにひどくなってきて心配している。地域の力が必要である。</p>
事務局	<p>全国的に児童虐待対応件数は増加傾向にあり、中には重篤な事例も発生しています。児童虐待は、行政や関係機関による対応だけでなく、家族や近所、地域の身近な方たちのお力添えがあって、未然に防いだり、早期に発見することが可能となります。引き続き、地域の皆様と協力しあい、子どもたちの安心・安全を守っていききたいと考えております。ご協力よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>・今年度久留米市で実施される「子どもへの暴力防止プログラム」は、P21の[児童虐待防止] 2-③児童虐待防止啓発事業の子ども自身から相談できる体制づくりの大きな一歩であると思うが、セーフコミュニティ委員会との関連はないのか？</p>
事務局	<p>当該事業はセーフコミュニティの取り組みの一つであると認識しています。ご指摘いただいた児童虐待防止の分野においては、今回の資料には未掲載ですが、小学生を対象とした子どもへの暴力防止CAPプログラム(子どもの権利等啓発事業)を7月から実施しており、実績報告に掲載予定です。なお、SOSの出し方教育はセーフコミュニティの具体的施策の7-③「子ども・若者の自殺対策の推進」に位置づけられており、自殺予防対策委員会における2020年度の取り組みでも最も成功した事例としても挙げおります。</p>

(協議2 続き)	[全体意見等]
委員	・成果をさらに高めていくには対策委員会間の連携が必要だと思う。
事務局	対策委員会の連携は必要だと考えています。各対策委員の皆様も、類似した課題について、連携の必要性を感じておられるところです。現在実施している連携の例としては、児童虐待防止対策委員会とDV防止対策委員会が協働してオレンジ&パープルリボンキャンペーンなどの取組を進めています。これからは、他の分野でも連携を進めていきたいと考えています。
委員	・コミセンなど地域の力を活用し、各校区の民生委員・児童委員との話しあい・活動を取り入れると、スムーズにいくと思う。
事務局	民生委員・児童委員の皆様は、久留米市の安全安心のまちづくりに欠かせない存在であり、セーフコミュニティの8つの対策委員会のうち、児童虐待防止、高齢者の安全、DV防止、自殺予防、防災の5つの対策委員会にも参画いただいています。この他、防犯などの分野でもご尽力をいただいているところであり、今後も、安全安心のまちづくりに向けた連携を深めていきたいと考えています。
委員	・今後の啓発予定で、久留米市公式LINE、YouTube等による情報発信とあるが、高齢者には難しいのでは。
事務局	情報の媒体によっては、対応が困難な方もいらっしゃると思います。しかしながら、インターネットの普及により、市民の皆様が情報を取得する手段は多岐に渡っています。このため、セーフコミュニティの情報も、あらゆる媒体を活用して発信していくことが必要だと考えているところです。広報紙や出前講座などの従来の情報発信にも、引き続き、力を入れていきたいと考えています。
委員	・新型コロナウイルス感染症対策で大変な中の取り組みとなるが、“安全・安心なまち久留米”の実現のため、それぞれの立場での努力が必要。
事務局	セーフコミュニティは、各対策委員会の取組に留まらず、市民の皆様が予防の大切さに気付き、それぞれの立場で安全安心の向上に取組むことが大切だと思っています。今後とも、「けがや事故は予防できる」というセーフコミュニティの考え方をしっかりと啓発してまいります。
委員	・コロナ下、生活に困窮している人が多い。子育てをしながらで暮らしが苦しいなどの状況の人を助けることが、セーフコミュニティの課題でもあると思う。
事務局	セーフコミュニティを推奨するWHOでは、生活の困窮を、健康を阻害する要因のひとつと捉えており、セーフコミュニティにとっても課題のひとつです。久留米市では自殺予防対策委員会において、生活困窮者の支援に取り組んでいます。
委員	《その他》
委員	[防災]
委員	・通常とは異なる環境、気象状況への不安を少しでも解消する為に、所属している女性団体においても防災の意識を高める研修、訓練が必要だと思っている。

(その他続き)	
事務局	久留米市では防災士・防災リーダーの養成を行っておりますが、女性にも積極的に参加していただけるよう、久留米市まちづくり連絡協議会の各種会議で呼びかけております。今後も研修会や防災訓練に参加しやすい環境を整えていきたいと考えています。団体での研修や訓練を希望される場合は、ご相談ください。
委員	[全体意見等] ・各委員会での指標設定について、「短期」と「長期」と区分しているが、今後のセーフコミュニティの再々認証との関連はどの様に考えているのか。
事務局	短期、中期、長期の指標について、どの程度の期間とするかの基準は定められていません。久留米市では、短期指標を1～2年程度の取組の指標、中期指標を認証期間である5年間程度、長期指標をそれ以上の期間の指標と捉えています。セーフコミュニティにおいて、対策委員会を組織して取組む重点分野は、認証期間の5年間で完結できるものではないと考えております。認証取得の如何に関わらず、セーフコミュニティの理念である「予防」の視点から、「協働」による安全安心のまちづくりを継続していくことが大切だと考えています。
委員	・P33セーフコミュニティ自治体一覧で、「再取得せず」「再々取得せず」が合わせて5自治体ある。その理由は？
事務局	認証の取得に要する財政負担が主な理由と聞いております。
委員	・セーフコミュニティに関わる各団体が目指すところ是一緒であり、交流し合う場が必要。例えば社協、市、諸団体等と力を出し合う場が欲しい。
事務局	久留米市の8つの対策委員会は、久留米市や警察、消防に加え、民児協や社協などの関係団体、校区コミュニティ組織や市民活動団体で構成されており、そうした団体が協働で安全安心のまちづくりに取組んでいます。これからも、各団体の協議を基に、活動を進めていきたいと考えています。
委員	・セーフコミュニティの活動を知らない人が若い人・年配の方々共に多く、「セーフコミュニティって何?」と言われる。伝えることの難しさを覚える。
事務局	久留米市でも、伝えることの難しさを感じています。セーフコミュニティの仕組みが理解しづらいことも、その一因だと思いますが、今後とも、広報紙や出前講座に加え、公式LINEやYouTubeなどのSNS、各校区コミュニティセンターのセーフコミュニティコーナーなどを通じて、丁寧な情報発信を心掛けていきます
委員	・いろいろ工夫して活動してある実態を、所属団体の中で広報出来ておらず申し訳なく思っている。
事務局	セーフコミュニティを久留米市全体に発信するため、これからも委員の皆様、所属団体の皆様のご協力をよろしく願います。事務局としましても、皆様が情報発信をしやすいよう工夫をしていきたいと考えております。
委員	・推進協議会資料の動画説明はわかり易かった。
事務局	動画による情報発信は有効な啓発手段のひとつであると考えており、今後も積極的に動画を活用していきたいと考えています。

(その他続き)	[その他]
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の苦しさから虐待も起きることを考えると、まず生活の安定が次世代のためにも大事だと思います。前回行われたようなお米の配布等も検討していただけたらと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者、子供のジョギングや遊び場となるように、公園の広場・歩道の安全・安心対策をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの通学路として利用している県道拡幅工事で、歩道を設置して欲しい。
事務局	<p>ご意見・ご要望については担当課へ連絡しております。</p>

第20回久留米市セーフコミュニティ推進協議会 参加者名簿

(敬称略・順不同)

	団体名	氏名
会長	久留米市	大久保 勉
副会長	久留米市	中島 年隆
委員	一般社団法人久留米市交通安全協会	村井 正隆
委員	浮羽地区交通安全協会	石井 勝則
委員	小郡三井地区交通安全協会	光安 勝憲
委員	久留米安全運転管理連絡協議会	永渕 俊毅
委員	久留米商工会議所	本村 康人
委員	久留米南部商工会	松田 シクエ
委員	久留米東部商工会	古賀 幹子
委員	田主丸町商工会	小林 整子
委員	久留米市農業協同組合	甲斐 サエ子
委員	にじ農業協同組合	後藤 マス子
委員	みい農業協同組合	赤司 久美
委員	三瀬町農業協同組合	田中 ヤク子
委員	福岡大城農業協同組合	千代島 和代
委員	公益財団法人久留米市スポーツ協会	吉田 忠隆
委員	久留米市私立幼稚園協会	丸山 景子
委員	一般社団法人久留米市保育協会	菊池 良明
委員	久留米市中学校長会	田中 佳幸
委員	久留米市小・中学校PTA連合協議会	平田 美奈
委員	久留米市学童保育所連合会	澁田 由見子
委員	久留米市青少年育成市民会議	野田 憲治
委員	久留米保護区保護司会	石橋 力
委員	久留米市老人クラブ連合会	寺崎 敦子
委員	特定非営利活動法人くるめ地域支援センター	木下 香織
委員	久留米市身体障害者福祉協会	永野 清
委員	特定非営利活動法人久留米市障害支援運営委員会	古賀 勝子
委員	久留米市女性の会連絡協議会	江上 昭子
委員	久留米市田主丸町地域婦人会連絡協議会	横溝 敏子
委員	久留米市北野女性の会	鐘ヶ江 一枝
委員	城島女性ネットワーク	中島 恵美
委員	久留米男女共同参画推進ネットワーク	近藤 詳子
委員	久留米市民生委員児童委員協議会	綾部 章子
委員	社会福祉法人久留米市社会福祉協議会	内川 裕子
委員	久留米市校区社会福祉協議会連合会	熊本 孝晴
委員	一般社団法人久留米医師会	田中 二三郎
委員	一般社団法人浮羽医師会	宮崎 正樹
委員	一般社団法人小郡三井医師会	田中 泰之
委員	一般社団法人大川三瀬医師会	池田 悟
委員	公益財団法人久留米市生きがい健康づくり財団	吉田 茂
委員	久留米大学	石竹 達也
委員	聖マリア学院大学	日高 艶子
委員	久留米市ボランティア連絡協議会	山村 秀敏
委員	久留米市校区まちづくり連絡協議会	石橋 良光
委員	久留米市防犯協会連合会	大石 淳
委員	うきは防犯協会(田主丸支部)	倉富 義己
委員	久留米市校区暴力追放推進協議会連絡会議	渡邊 浩二
委員	特定非営利活動法人日本防災士会久留米支部	田島 スマ子
委員	久留米警察署	俵積田 政志
委員	うきは警察署	中原 伸宏
委員	久留米広域消防本部	秋吉 弘章
委員	久留米市消防団	水田 信行
委員	久留米労働基準監督署	内田 トヨ子
委員	久留米児童相談所	仁比 寿美
委員	久留米市教育委員会	井上 謙介